



ホーム>世界>ガーナ クリスさんの報告05

一緒に歩もう!一緒に変わろう!「立ち上がった世界の人々」の21世紀の夢を応援しよう!

プログラム内容  
2011年4月

報告1  
2011年5月

報告2  
2011年10月

報告3  
2012年1月

報告4  
2012年7月

報告5  
2012年10月

報告6  
2013年4月



## からし種エージェントによるからし種エージェント増殖と地域変革: 第三ステージ

愛の種まき応用編 ~ケープ・コースト市で~ 2012年10月

2010年6月、アクラでクリスさんが開催する「隣人を愛する習慣づくり・地域リーダー研修会」に出席していたジョシュア牧師は、ガーナの首都アクラから約100キロ、離れたケープ・コースト市に大きな夢を描いていた。最近、移り住んだケープ・コースト市には埋もれた可能性があるに違いない、と。そして、それは隣人を愛する人たちが増殖することに鍵があるのだ、と。そのとき、市全体が驚くべき喜びの町に変貌するだろう。今、見ている現状がこの町の現実だと見限るのではなく、自分に与えられた確信に基づいて、隣人を愛し、心を開いてくれた人をコツコツと隣人を愛する仲間にしていくことだという信念に到達した。



それから2年と少し、彼は自分に託されていると感じたケープ・コースト市で地道に「隣人を愛する習慣づくり」を広げていた。「習慣づくり」の会員が参加して自分の思いを話し、また、励ましあう「からし種成長クラブ」はこの一年間で4つから7つに増加した。定期的に自分の地域で隣人愛の実践を伝え合い、励ましあう会員数は、市やその周辺から合わせて100人以上に達したという。



最近の分かち合いにこのような例がある。フローレンスさんは、このケープ・コースト市で近所迷惑なことを次々にしでかす不思議な一家の近くに住んでいた。彼女も内心、迷惑で困ったものだと思いますが暮らしていたそう。そのようなとき「隣人を愛する習慣づくり」セミナーに参加するように誘われた。参加してみてもとても重要な働きだと共感し、「からし種成長クラブ」にも集うようになった。そのうちに、困ったものだとみんなが思っている一家のことをこの人たちなんとなかならないだろうか、と内心、不満に思っているだけでは何も変わらないことに気がつかされた。そうではなく、近所の人たちと仲良く平和に過ごせるように助けることが、まさに自分がすべきことなのだと気づいたという。

そこで、あるとき勇気を奮ってこの家を訪問することにした。フローレンスさんは、彼らが良い隣人として近所の人たちに受け入れられることを心から願っていること、そもそもこの家族を造って下さった方がどれほど愛してくださっているか、だから自分もどうしたのだろう、と心配していると伝えてみた。そして、ぜひ、「からし種成長クラブ」に参加してくれるようにと声をかけた。すると、それを真剣に聞いていた家族は、驚いたことに「それでは、参加しよう。」と心を開いてくれたのだ。それ以来、周りのすべての人を不信に思い、敵のように突っかかる姿がすっかり影を潜めた。そして近所の人たちと、すっかり仲良くなり、平和に暮らすようになった。「隣人を愛する習慣」は隔てていた壁を壊してくれる。決して仲良くすることは出来ないだろうと思っていた人たちとも、勇気をもって関わり始めると、その壁が崩れていくのだ。そして、私たちが暮らす町に新しい平和が築き上げられていく。

「隣人を愛する習慣づくり」が教えることは、自分が関わる必要があると思っていた人たちの輪は、実はとても限られていたことに気づき、その輪を広げていくことだ。「あの人たちは、自分の仲間じゃない。」そう考えて、声をかけたり、手を差し延べることを控えていた「他人」がどれほどいるだろう。「話をしたことはないけれども、あの人も、私や家族や身近な知り合いと同じように大切な仲間だ。」この「仲間意識」を広げることが「隣人を愛する習慣づくり」のとても大切な働きだ。そう、ジョジュア牧師は信じて、今日も活動を続けている。

[プログラム内容](#)   [Report01](#)   [Report02](#)   [Report03](#)   [Report04](#)   [Report05](#)   [Report06](#)

[Page Top](#)

[Share](#) |

[ホーム](#)   [活動内容](#)   [FVIの特徴](#)   [参加する](#)   [寄付・献金](#)   [お問い合わせ](#)

Copyright(c) Friends with the voiceless International All Right Reserved

